



令和元年8月分 大分税関支署管内貿易概況

令和元年 10月10日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は671.1億円、前年同月比1.4%減、6か月連続のマイナス

鉄鋼、荷役機械、映像機器などが減少

船舶類、有機化合物などが増加

輸入額は999.7億円、前年同月比17.7%減、3か月連続のマイナス

鉄鉱石、銅鉱、液化天然ガスなどが減少

原油及び粗油、石油コークスなどが増加

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	8,912	129.6	▲	鉄鉱石	15,148	66.9	▲
鉄鋼	20,553	89.9	▲	銅鉱	22,080	74.9	▲
銅及び同合金	10,724	91.4	▲	石炭	15,838	86.7	▲
事務用機器	9,267	96.0	▲	原油及び粗油	20,227	115.0	▲
映像機器	6,193	81.1	▲	揮発油	10,539	91.0	▲
船舶類	5,300	全増	▲	液化天然ガス	6,933	56.9	▲

港（通関官署）別の状況（詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

大 分） 輸出は611.4億円、前年同月比8.8%減。鉄鋼、荷役機械、映像機器などが減少、有機化合物が増加
輸入は993.3億円、前年同月比17.7%減。鉄鉱石、銅鉱、液化天然ガスなどが減少、原油及び粗油が増加

佐 伯） 輸出は24.6億円、前年同月比17.3倍。船舶類が全増、木材が減少、魚介類が全減
輸入は1.8億円、前年同月比67.3%減。植物性油かすが減少、植物性原材料、一般機械、金属製品が全減

津久見） 輸出は35.1億円、前年同月比4.0倍。船舶類などが全増、セメント、石灰石が減少
輸入は4.6億円、前年同月比74.5%増。石油コークスが全増、石炭、アルコール飲料が減少

大分 輸出実績なし
空港） 輸入実績なし

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

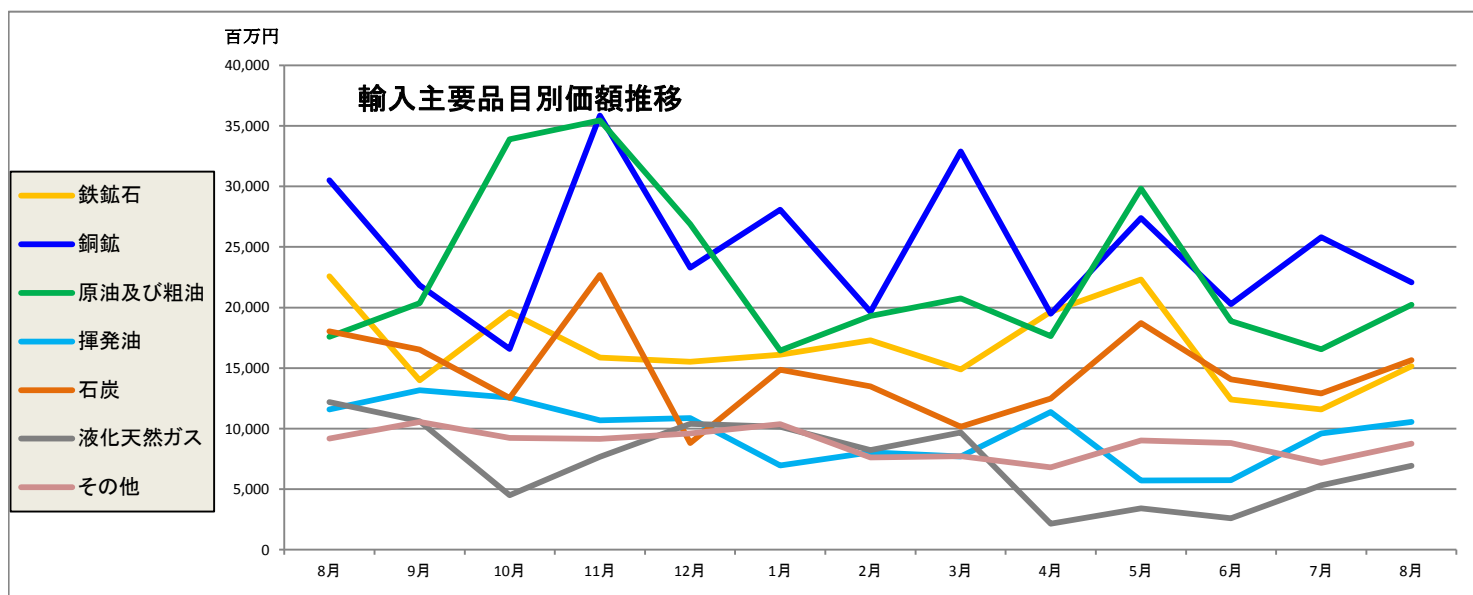
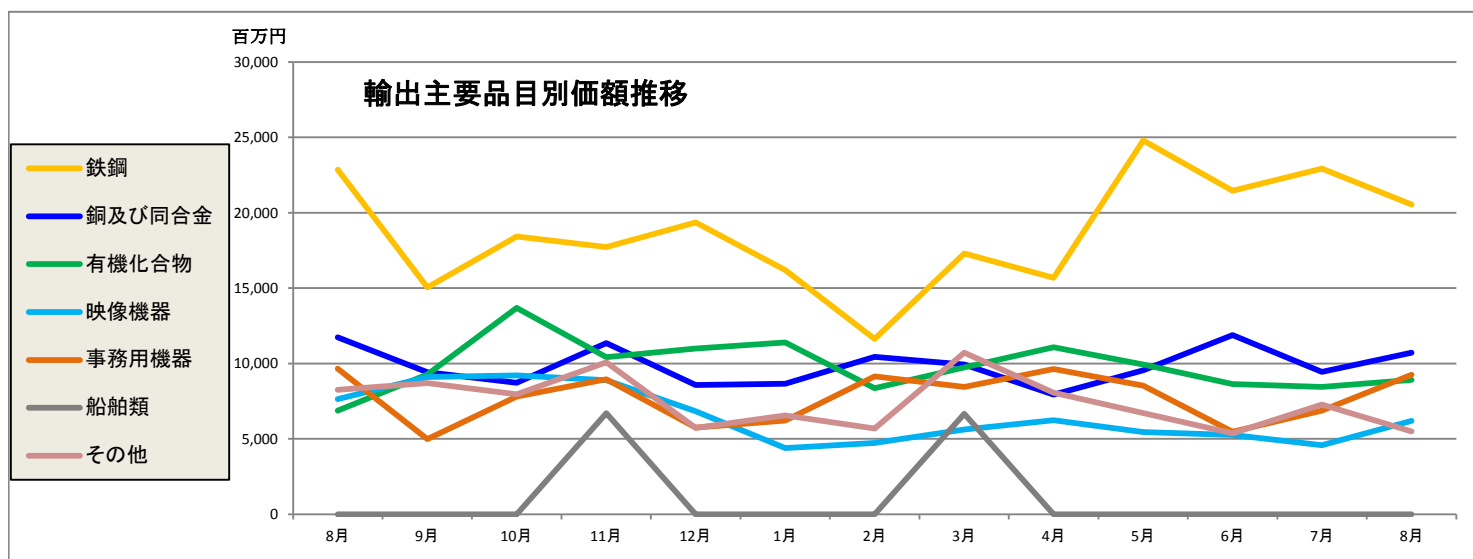
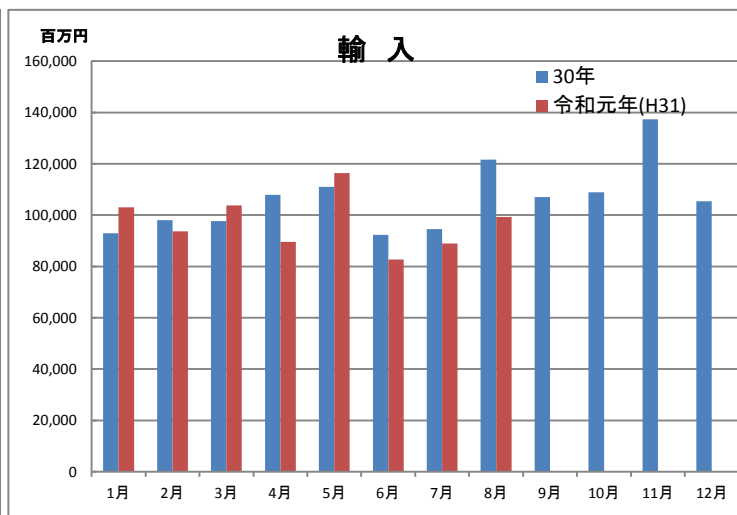
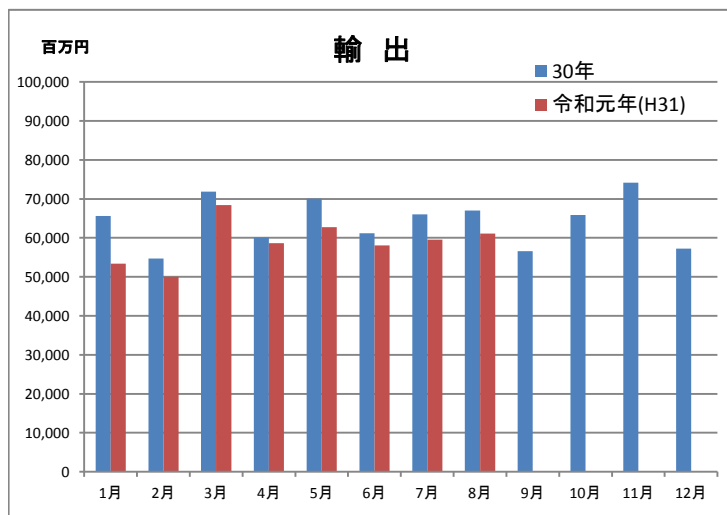
区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	61,139	91.2	▲	9か月連続のマイナス	99,334	82.3	▲	3か月連続のマイナス	入超	38,195
佐 伯(佐 伯)	2,459	1,734.1	▲	2か月連続のプラス	176	32.7	▲	5か月ぶりのマイナス	出超	2,284
津久見(津久見)	3,507	395.5	▲	3か月ぶりのプラス	464	174.5	▲	2か月連続のプラス	出超	3,043
大分空港(大分空港)	-	-			-	-			-	-
大 分 県	67,106	98.6	▲	6か月連続のマイナス	99,973	82.3	▲	3か月連続のマイナス	入超	32,867

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
 YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>